

# 兵庫消防

発行所  
公益財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 岸 野 雅 信

二〇二三年  
全国統一防火標語  
お出かけは  
マスク戸締め  
火の用心

## 県広域防災センター！ 県消防防災航空隊 派遣期間終了と着任

### (公財) 兵庫県消防協会

令和四年三月三十一日(木)  
県災害対策センター会議室にて、県内各消防本部から派遣された職員の解任辞令交付式が執り行われました。

解任辞令と併せて、知事より派遣期間中の功績に対する感謝状が贈呈され、また県広域防災センターへ派遣されていた職員へは、県消防協会会長からも、消防団員の教育訓練にご尽力いただいたことに対する感謝状が贈呈されました。引き続きまして令和四年四月一日(金)、同じく県災害対策センター会議室にて、県内各消防本部から派遣された職員の着任辞令交付式が執り行われました。その後は早速、それぞれの新しい所属へ向かわれました。

派遣期間を終了された皆様には、その豊富な知識と経験を活かし、県消防防災の強化に尽くしてくださいました。心からの感謝とお礼を申し上げます。今後のご活躍・ご健勝を祈念しております。  
そして新しく着任された皆様、県民の安全・安心のため、そして消防防災力強化のため、

よろしくお願ひします。  
この度の解任と着任は次のとおり。

#### ◎解任

##### 【兵庫県広域防災センター】

高田幸次郎

(加古川市消防本部)

原田 公介

(明石市消防局)

野田 明

(神戸市消防局)

横田 幸治

(伊丹市消防局)

浜上 英典

(豊岡市消防本部)

羽田 匡宏

(三木市消防本部)

木澤 洋平

(高砂市消防本部)

川添 真弘

(小野市消防本部)

##### 【兵庫県消防防災航空隊】

野田 誠一

(神戸市消防局)

東本 裕

(姫路市消防局)

渡辺 英成

(尼崎市消防局)

#### ◎着任

##### 【兵庫県広域防災センター】

益田 雄至

(明石市消防局)

碓永賢太郎

(加古川市消防本部)

藤田 房幹

(神戸市消防局)

岡田 憲明

(淡路広域消防事務組合消防本部)

##### 【兵庫県消防防災航空隊】

川崎 孝行

(西宮市消防局)

榎田 雄介

(神戸市消防局)

西田 大地

(加古川市消防本部)

桐山 享之

(三田市消防本部)

田中 勝純

(尼崎市消防局)

山口 葵

(加古川市消防本部)

田中 良

(宝塚市消防本部)

葛嶋 崇繕

(赤穂市消防本部)



県幹部と共に記念写真

### 「兵庫消防」 地区通信員について

#### 兵庫県消防協会事務局

当協会から年に四回発行している広報紙「兵庫消防」について、今年度も引き続き、県内各地区の事業や行事等充実した内容を発信して参ります。

今年度「兵庫消防」の発行にご協力くださる、地区通信員の皆さまは次のとおりです。(敬称略)

神戸地区

神戸市消防局

阪神地区

川西市消防本部

東播磨地区

明石市消防局

中播磨地区

姫路市消防局

北播磨地区

小野市消防本部

西播磨地区

赤穂市消防本部

但馬地区

豊岡市役所城崎振興局

丹波地区

丹波篠山市役所

淡路地区

淡路市役所

丹波地区

丹波篠山市役所

丹波地区

丹波篠山市役所

淡路地区

淡路市役所

淡路地区

淡路市役所

淡路地区

淡路市役所



## 兵庫県防災関係 幹部紹介

(令和四年四月一日)

防災監兼危機管理部長

遠藤 英二

危機管理部次長

城下 隆広

危機管理部次長

小野山 正

総務課長

多田 敦生

防災支援課長

奥見 啓五

広域防災官

宮崎 伸一

災害対策課長

藤本 剛司

訓練・調整官

月輪 敏郎

消防保安課長

中道 一義

広域防災センター長

河本 要

兼消防学校長

栗原 利典

広域防災センター長

栗原 利典

総務部長

栗原 利典



# 令和4年度 第87期 初任教育入校式挙行!!

## 159名が消防士への第一歩踏み出す!



(公財) 兵庫県消防協会



宣誓



校長祝辞

令和四年四月六日(水)、兵庫県広域防災センターにて第八七期初任教育入校式が挙行されました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、教育生と教官方のみの入校式となりました。

消防士として採用された新規職員は、全寮制で六か月間、消防士として必要な体力・気力・知識・技術を習得するため、厳しい訓練を受けなければなりません。

今年度は県内各消防本部から一五九名が入校しました。

入校式後には早速体力測定が実施され、教育生たちは懸命に取り組んでいました。

これからの六か月間、辛くて苦しい訓練の日々が続きませんが、多くを学び、仲間との絆を深めながら、笑顔で九月の卒業式を迎えていただきたいと思えます。



1500m走



懸垂



準備体操



# 令和三年度兵庫県女性消防団員活性化研修会 開催!

## 公益財団法人兵庫県消防協会

この度の女性消防団員活性化研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加開催は中止となりました。しかしながら、県内女性消防団員の皆さまや関係者の皆さまに、コロナ禍においても多くのことを学んでいただき、今後の活動に活かしていただきたいという思いから、動画撮影を行い後日YouTubeにて限定配信する方式で実施しました。

令和四年二月六日(日)、兵庫県広域防災センター兵庫県消防学校の講堂において、撮影を実施しました。

内容としては、加古川市消防団女性分団(リバーエングルス)による活動事例発表と、元茨城県阿見町消防団女性部部長の山本みゆき氏を講師とした「新たな災害環境に対する消防団のあり方に関する講座」の二本立てで撮影を行いました。

加古川市消防団女性分団(リバーエングルス)の活動事例発表では、地域での活動内容に加え、式典等で披露するラップ演奏や、消防庁のマスコット「消太くん」が登場するなど楽しい内容になりました。とくにラップ演奏はインパクトがありました。

山本みゆき氏による『女性



事務局長(消防課長)挨拶



消太くんの指揮のもと、ラップ演奏



活動事例発表の様子



ゴミ袋で雨合羽、新聞紙でスリッパを作成



オンライン講演の様子



活動事例発表リハーサル中

の視点を活かした防災」と題した講演では、小さな子供たちから高校生、高齢者など、それぞれの年代の方々への防災教育、消防学校へ入校中の初任教育生に対する消防団員の活動に関する講座についてなど、様々な工夫を凝らし、幅広い活動の事例を紹介され、ごみ袋を活用した雨合羽づくりや、新聞紙を用いたスリッパの作成など、今後の女性消防団員の活動に、大いに活用できる講座となりました。

撮影した内容については、後日編集を行い、兵庫県消防協会のYouTubeチャンネルにて、兵庫県内の女性消防団員等へ限定配信しております。



最後は消太くと一緒に「敬礼！」

### 新型コロナウイルスの感染拡大を予防するための「ひょうごスタイル」って、なんだ?

兵庫の新たな生活様式「ひょうごスタイル」を取り入れ、新型コロナウイルス感染拡大予防にご協力をお願いします。

**各場面の行動スタイル**

- 買い物**
  - マスク、手拭い、消毒液
  - レジ付近での待ちは避け、列の前後を空けて待つ
  - レジ付近を歩かず、レジ待ちを待たず、レジ付近を歩かず
- 電車・バス利用**
  - 乗車・乗車中はマスクを着用し、手拭い・消毒液を携帯する
  - 乗車中は手拭い・消毒液を携帯する
  - 乗車中は手拭い・消毒液を携帯する
- 食事**
  - 食卓は密を避け、手拭い・消毒液を携帯する
  - 食卓は密を避け、手拭い・消毒液を携帯する
  - 食卓は密を避け、手拭い・消毒液を携帯する
- 娯楽・スポーツ等**
  - 密を避け、手拭い・消毒液を携帯する
  - 密を避け、手拭い・消毒液を携帯する
  - 密を避け、手拭い・消毒液を携帯する
- イベント等**
  - 密を避け、手拭い・消毒液を携帯する
  - 密を避け、手拭い・消毒液を携帯する
  - 密を避け、手拭い・消毒液を携帯する

**日常生活【ライフスタイル】**

- ウイルスとの共存を意識した生活習慣
- 感染拡大を予防するための日常生活
- 「3密」の回避
  - 密接(距離2m未満)
  - 密集(1m以内)
  - 密閉(換気不足)
- できるだけ2m、最低1m。マスクの着用、咳エチケットの徹底
- 手拭い・手消毒
  - 手拭いは30秒程度。消毒液の利用
  - 手拭い・手消毒
  - 手拭い・手消毒
- 体温測定・健康チェック
  - 発熱や咳などの症状がある時は発熱を避ける
  - 発熱や咳などの症状がある時は発熱を避ける
  - 発熱や咳などの症状がある時は発熱を避ける
- 誰とどこで会ったかを記録
- 自然災害と感染症との複合災害への備え

兵庫県の新たな生活様式「ひょうごスタイル」を取り入れ、新型コロナウイルス感染拡大予防にご協力をお願いします。





『時代に即した消防団を目指して』

加西市消防団

加西市は兵庫県の南部、播州平野のほぼ中央に位置し、人口四二、七一人(令和三年末時点)が暮らすまちで、県立フラワーセンターや戦争遺跡の鶴野飛行場跡地などの観光資源のほか、熱気球のフライングエリアとしても有名で、一月〜五月の週末には全国から気球チームが訪れ、色とりどりの気球が空を賑わせています。

加西市消防団は、一二分団九九部、消防ポンプ車一台、小型ポンプ積載車九二台、小型ポンプ六台、団員数一、二二三名で構成され、日々、防災活動に取り組んでいます。スマホを活用した水利マップについて

火災時にいち早く水利を確保することは、消防団員の重要な任務になります。全団員に水利地図を配布することは困難で、水利の新設置・廃止の際は、地図更新の課題もあり、水利の把握については、日頃の水利点検など個人の努力に頼らざるを得ない状況でした。そんな問題を解決したのが、スマホアプリの Google マップで作成した加西市水利マップです。当アプリの機能を活用し、加西市内の消火栓・防火水槽約二、二〇〇箇所のデータをオンライン上に



スマホから瞬時に水利情報を把握できます。

家屋模型を使用した燃焼実験 近年、住宅の高性能化により建物火災件数が減少する中、

消防団員の経験値不足を補うため、新入団員や部長を対象に家屋模型を使用した燃焼実験を行いました。

この実験は、燃焼のメカニズムや火災性状を科学的に学び、効果的な消火技術を習得することを目的としたもので、リアルな家屋模型を燃やすことで実火災のイメージ化ができ、煙や火災の動きから、どこに筒先を配備し、どう放水するのか、消防署員の解説を受けながら熱心に学びました。



火災性状が理解し易かったと団員間でも好評。

WEBアンケートの実施について

少子高齢化に伴い、団員自身の高齢化や新団員の担い手不足など、今後、消防団員の負担がさらに増加していくことが予想されるとともに、雇用形態の変化や新しい生活様式など消防団員を取り巻く社会情勢は日々変化しており、消防団の活動も時代に合わせた柔軟な対応が求められます。この度、当市消防団では、全団員を対象にWEBアンケートを実施し、その集計結果から活動内容の見直しを図ることにしました。団活動にやりがいがあると

『安全に安心して暮らせる町を目指して』

香美町消防団

香美町は兵庫県北部に位置する日本海に面する地域で、内陸部は標高一、〇〇〇メートル級の中国山地に囲まれ、林野が約八六パーセントを占めています。町の中心を南北に縦断する矢田川水系沿いに耕地や居住地を形成し、総面積約三六八・七七平方キロメートルと広大なエリアで、但馬地域の約一七パーセントを占めています。

海岸部は山陰海岸国立公園に指定され、山間部は水ノ山後山那岐山国立公園、但馬山岳県立自然公園に指定されるなど、自然公園区域が多くを占める多様な自然環境を有しています。また、東は京都府京丹後市から西は鳥取県鳥取市までの約一二〇キロメートルが「山陰海岸ジオパーク」として、ユネスコ世界ジオパークに認定されています。

中、訓練等が負担に感じるなど消極的な回答や厳しい意見も多くありましたが、団員の生の声を聴き、問題点を洗い出すことができました。このアンケート結果を真摯に受け止め、団活動の改善を行い、より良い加西市消防団を築いていきます。

最後となりましたが、加西市消防団は「時代に即した消防団とは何か」を自問しながら、試行錯誤し、新しい事は積極的にチャレンジして、「時代に先取りする消防団」を目標に日々精進して参ります。



幹部訓練



より各分団の訓練等や地域への啓発活動に活用していくこととしております。

また、香住支団では火災時に機械員が出勤できない場合でも出動した団員が適正にポンプを操作し、安全に水出しを行うことが必要となるため、全団員を対象としたポンプの操作訓練や、分団間の連携強化を目的とした火災想定訓練を行っています。

この火災想定訓練では、毎年、三から四分団を一組として計画分団と出動分団を定め、計画分団が管轄する地域内で想定した火点での出動分団との連携方法から水利の活用に



火災想定訓練



至るまでを団員自らが計画を作成し、実践訓練を行っております。

団員自らが計画を作成することにより、自分たちが管轄する地域で水利が不足する場所の水源確保の方法や、分団間の連携を行うために有効な場所を考えるなど、自分たちが住んでいる地域の状況を再確認することにも役立っております。

香美町消防団は、これからも町民の信頼と期待に応えられるよう団員一丸となって、安全に安心して暮らせる町を目指して、引き続き消防活動に取り組みまいります。

# わが町の団長さん

## 「市民生活の安全・安定を確保するために」

加古川市消防団  
樋口 満



加古川市は、一級河川「加古川」が市のほぼ中央部を流れており、水の恵みを受け、発展してきたまちです。臨海部は東播磨地区石油コンビナート等特別防災区域を含む工業地域があり、中央部にはJR加古川駅を中心とした商業地区が拡がり、北部は田園地帯から山林へと続いていきます。このような地域性のため、火災種別は工場火災や密集地での火災、林野火災など多様であり、これらの火災に対応するため、消防団は常に

消火訓練等を積み重ねています。

加古川市消防団は、現在、女性分団、企業連携消防団員を含め一団本部、一九分団、団員数一、一一三名となっております。このような加古川市消防団に樋口団長は昭和五四年に入団、以来四三年間消防団活動を続けられ、消防団に対する情熱と行動力、そして実績と経験を持って、令和四年四月に第一〇代消防団長に就任されました。

入団当初から、消防団の活性化を願い、施設・装備の充実をはじめ団員の確保にも尽力されました。また、団長は謹厳実直な人柄で、団員はもとより地域住民からも信頼されています。

今後は、消防団の特性である、「地域密着性」、「要員動員力」、「即時対応力」を生かして、地域の防火防災力の向上を図り、「夢と希望を描き幸せを実感できるまち加古川」の実現をめざし、市民生活の安全・安定を確保する決意を新たにされています。

## 「三木市のサラリーマン団長ここにあり」

三木市消防団  
筒井 悟



三木市は兵庫県の南東部に位置し、伝統産業である「三木金物」や、生産量、品質ともに日本一の酒米「山田錦」が有名です。また、ゴルフ場の数は西日本で市内に二五か所あり、豊かな自然に恵まれたまちです。

三木市消防団は、一団本部三八分団、団員数一、三三〇人(うち女性団員一六人)で構成されています。

筒井団長は、平成一〇年に入団し、平成二四年から副団長を務め、令和四年四月一日から団長に就任しました。

三木市初となるサラリーマン団長として、また四九歳という若さで就任しました。かつて消防団員は、自営業者等を中心に構成されていましたが、近年、三木市消防団においても、サラリーマン団員の割合が八〇パーセントを超えています。そのような中で団長に就任され、サラリーマン団員にとっても、活動しやすい環境作りを目指します。

筒井団長といえば、知る人ぞ知る大食漢で、朝ご飯を五

合食べたというエピソードが——と一倍強い使命感で三木市消防団をまとめ、市民の安心安——期待します。

## 支援を必要としている人たちにこそ!! 女性消防団員!!

### 姫路市姫路西消防団

姫路市は、兵庫県の南西部に位置し、人口約五三万人、面積は五三四平方キロメートルで、世界文化遺産姫路城を始め、海岸線には工業地帯、北部は山岳地帯と多種多様な地域からなっています。

姫路市の消防団は八団七二分団から構成されており、三、〇〇〇人を超える団員が活動を行っています。そんな姫路市の消防団に、平成二四年三月一日、女性消防団員が誕生し、姫路市姫路西消防団におきましては、現在四人の女性消防団員が活動を行っています。

主な活動として、姫路市消防出初式、総合防災訓練などの主要行事の参加や、地域の防災訓練、普通救命講習にも参加するとともに、火災などの災害にも積極的に駆けつけ、地域の安全、安心を守るため日々頑張ってきました。

しかし、女性消防団員の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、行事は軒並み中止となり女性消防団員の強みを発揮する機会が奪われています。そんな中、世界に目を向けると、ウクライナではロシアの軍事進攻を受け、災害弱者である女性や子供、障がい者、高齢者、その



放水技術を高める女性消防団員

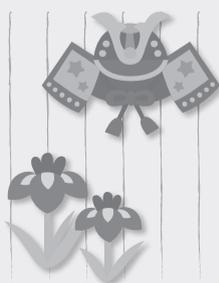
## 編集後記

暑さが日ごとにまじまじとやってきましたが、皆さまいかがお過ごしですか。

今月号の二面には、四月に消防士になった初任教育生の、消防学校入校式を掲載しています。コロナ禍の中でも一人前の消防士になるため、元氣いっぱい日々厳しい訓練に励んでいます。是非ご覧ください。

また、紙面作成にあたり、各地区から多数の寄稿をいただきました。誠にありがとうございました。

今年度の「兵庫消防」の編集は岸本と山本が担当いたします。より充実した紙面になるよう努めますので、今後ともご愛読をよろしく願います。



〜お詫ごと訂正〜  
令和四年一月一五日発行の兵庫消防第六九三号「われら若手消防団員」の記事におきまして、執筆者の氏名に誤りがございました。

(誤) 桂木 宗徳  
(正) 桂田 宗徳

お詫びして訂正させていただきます。